

学校教育目標

- 〈徳〉 やさしく ～夢を持ち続ける子の育成
 〈知〉 ただしく ～自ら進んで学ぶ子の育成
 〈体〉 たくましく ～最後までやりとげる子の育成

伊達開来高校進学指導講座に参加して

校長 高橋 秀 壽

12月7日（火）に伊達開来高校を会場に実施された北海道高等学校「未来を切り拓く資質・能力を育む高校教育推進事業」進学指導講座（数学）に参加しました。当初の目的は、開校した伊達開来高校の生徒や校舎を直接見たかったこと、高校時代には微分積分は好きだったが、それ以外は好きではなかった数学についてどうしてそうなったのかを知る機会を求めていたこと、そして、午後の講演会に参加したかったことが動機でした。会場の体育館には若い先生が多く、全道からオンライン参加もあり、その他東京からの参加者もいました。長机の上の指導案を見ました。

【問題提示】

30人のうち21人が「飲み心地がよい」と回答したとき、この紙ストローは「飲み心地がよい」と判断してよいかを、硬貨投げのデータを用いて考えよう。また、その理由を説明しよう。

とありました。この問題について詳しく説明すると紙面が足りないので割愛します。特別授業をされた東京学芸大学大学院教育学研究科教授 西村 圭一氏の授業説明がありました。「データに基づいて生徒の考え方がどう変わっていくのかを参観してください。」「仮説検定の考え方の授業です。」1年生40名（男子23名女子17名）が4人で1グループとなり長机2脚を挟んで座りました。

端的に申しますと、2つの異なるデータを比べ、回答の蓋然性について仮説を立てて結論を出します。結論が間違っているのであれば、仮説自体が間違っている。この考え方を背理法といいます。各グループはこの問題にどのように考えを巡らせばいいのか、苦勞していました。苦勞して当然なのです。この単元は次年度の数学科の教科書から学習する内容なのです。ただ、この仮説検定という単元に臨むにあたり、仮説を立てる考え方の訓練が必要だなと感じました。中学校、小学校から一人一人が批判的思考（いわゆる批判ではない）、多面的多角的、総合的な考え方を涵養し、自説をもたせる指導が必要だと思います。異なる2つのデータ結果の読み取り、仮説を立てる、その結果をどう理解するかという考え方をもつことは、経験しないと身に付きません。これは、数学科に限定したことでない筈です。

文部科学省初等中等教育局主任視学官 長尾 敦史氏が午後からの講演「指導と評価」の中で数学を苦手とする生徒についてです。●問題自体に興味をもてない（問題を自分事として捉えられない）■問題がどこから来ているのかが分からない。■問題がどこにつながるかが分からない。■問題と自分の現在の生活や将来の生活との関係が分からない。つまり、何のために数学を学んでいるのかが分かりにくい、と感じている。日常生活や社会の現象を数理的に捉え、数学的に処理し、問題を解決することができることを教えること。例えば、①背理法の考え方は、犯罪捜査、②等比数列は預金やローンの仕組み、③指数・対数は、酸性度（PH）の測定、地震の規模、④微分・積分は、高速道路の建設、⑤統計は、アンケート調査の分析に活用できます。

伊達開来高校1年生は、半分ほどのグループで考え方をまとめていました。一生懸命に相談をしながら問題に取り組んでいる様子がありました。発表する際に声が小さかったかな。自己アピールを繰り返していけば、表現力が高まると感じました。長尾視学官の言葉を最後にご紹介します。「問いながら学ぶ」ことを繰り返すことが深い学びになる。授業の目標と評価基準「～をすることができる」を明確にする。「自分の言葉で表現」「例をあげることができる」「Cと評価する生徒をB以上にする」「行動観察が弱いと生徒の思いが読み切れない」「評価は授業改善」「問題に粘り強く取り組む」。

今年の星の丘の子どもたちは着実に個々に成長をしていると感じます。令和4年度が人格形成と生きる力を身に付けさせる良い年になるために学校の果たす内容を明確にしなければならぬと感じ、今年の締めのご挨拶に代えさせていただきます。

今年1年につきまして、本校を代表して衷心より感謝申し上げます。

いのちの学習(小・中)



「いのちの学習」を行いました。小学校では伊達赤十字病院の職員の方のご協力をいただき、病気予防の視点から正しい手洗いの仕方や、その重要性について教えていただきました。また、中学校では保健師の方のご協力をいただき、性教育の視点から生命の大切さを教わりました。児童・生徒たちは真剣に話を聞いていて、とても実になった授業となりました。

星の丘広場

12月3日(金)に小学校では「星の丘広場」を行いました。今年は「輪投げ・魚釣り・サイコロゲーム」の3つのお店を作り、サポーターの方やバウムハウスの職員、中学生をお客様としてお招きしました。お客様に楽しんでもらうために、どのお店でも子どもたちのアイデアや工夫が見られ、お店側もお客様もとても楽しい時間を過ごしました。



「きつつきの会」読み聞かせ

12月1日(水)、「きつつきの会」の方をお招きして1学期に引き続き2回目の読み書きせを行いました。
『ピリカ、おかあさんへの旅』
『もうちょっと もうちょっと』
『ないた あかおに』
『まほうのふで』
の4つのお話をみんなで楽しみながら聞くことができました。



職業体験発表会

12月8日(水)、中学校2年生による職業体験の発表が行われました。小学校6年生、中学校1年生に向けて、働くことの意義や大切さ、注意しなければならないことを自分の体験をもとにしっかりと発表することができました。
今後の学校生活でも、それを生かして生活してください。



1月行事予定

- 1日(土)～3日(月) 年始休暇
- 4日(火) 学校閉庁日
- 5日(水) 高等養護学校願書出願受付開始
- 10日(月) 成人の日
- 12日(水) 学校保健研修会
- 13日(木) 高等養護学校出願状況発表
- 14日(金) 校務部会 学校評価委員会
月行事調整委員会 小・中部会
- 17日(月) 第3学期始業式 職員会議
- 18日(火) 第5回教護会
- 19日(水) 学校関係者評価委員会
- 20日(木) 定例校長会議 放課後学習会(中)
高等養護学校面接練習
- 21日(金) 冬の野外活動(小)
定期テスト(中)
学校評価委員会
高等養護学校最終出願状況発表
- 24日(月) 実務者会議 高等養護学校面接練習
- 25日(火) 二計測(中) 校務部会年度末反省
- 26日(水) 二計測(小) 校務部会年度末反省
高等養護学校面接練習
- 27日(木) 校務部会年度末反省 定例教頭会議
- 28日(金) 児童生徒会
高等養護学校選考検査日
- 31日(月) 小・中部会 研修日

Stav alert! ～ステイ・アラート～

★ゼロ密(×密閉 ×密集 ×密接) ★マスク着用(気密性+鼻の頭まで) ★手洗い(石鹸と流水、アルコール)